

厚生労働大臣 殿

学校法人 愛知医科大学
理事長 加藤 延

愛知医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	123人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	360人	162人	380.4人	看護業務補助	23人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	16人	14.5人	理学療法士	15人	臨床検査技師	64人
薬剤師	66人	8人	69.6人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	18人	0人	18.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	791人	24人	806.4人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	14人	0人	14.0人	栄養士	0人	その他の技術員	39人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	65人
管理栄養士	13人	0人	13.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	639.3人	5.4人	644.7人
1日当たり平均外来患者数	1934.7人	63.2人	1997.9人
1日当たり平均調剤数	2997.6剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡の治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒痕その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるものに限る、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	14人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	13人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	66人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	25人
・多発性硬化症	59人	・ウェゲナー肉芽腫症	87人
・重症筋無力症	105人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16人
・全身性エリテマトーデス	424人	・多系統萎縮症	2人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	39人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	336人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・原発性胆汁性肝硬変	2人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	282人	・重症急性膵炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	161人	・特発性大腿骨頭壊死症	52人
・結節性動脈周囲炎	22人	・混合性結合組織病	38人
・潰瘍性大腸炎	213人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	32人	・特発性間質性肺炎	20人
・ピュルガー病	48人	・網膜色素変性症	43人
・天疱瘡	30人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	43人	・原発性肺高血圧症	7人
・クローン病	58人	・神経線維腫症	35人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	337人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	29人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	113人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1 か月 3 回程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	30例	剖検率 4.8%

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
非アルコール性脂肪性肝炎発症におけるストレスおよび中枢性神経ペプチドの関与	米田 政志	消化器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の発症・進展における喫煙の影響に関する研究	米田 政志	消化器内科	2,000,000	補委 喫煙科学研究財団
内視鏡画像の3次元形状復元の研究	春日井邦夫	消化器内科	500,000	補委 内視鏡医学研究振興財団
肝細胞内情報伝達系におけるADAMの機能とC型肝炎ウイルスによる抑制機構の解析	中尾 春壽	消化器内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	1,500,000	補委 厚生労働省
サルコイドーシスの遺伝要因	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	400,000	補委 厚生労働省
サルコイドーシスのtranscriptome scan	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	700,000	補委 日本学術振興会
抗GBM抗体関連疾患におけるHLA DRの解析	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科	100,000	補委 厚生労働省
monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS)患者での尿中Bence Jones 蛋白(λ型)と腎障害について	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科	900,000	補委 厚生労働省
関節リウマチにおけるサイトカインによる骨芽細胞化障害の分子機構の解明	山村昌弘	腎臓・リウマチ膠原病内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
難治性血管炎に関する調査研究	山村昌弘	腎臓・リウマチ膠原病内科	2,000,000	補委 厚生労働省
小児の難治性白血病、骨髄異型性症候群におけるゲノム異常の解析と治療法に関する研究	鶴澤正仁	小児科	500,000	補委 厚生労働省
MRD定量に基づく層別化を取り入れた小児急性リンパ性白血病治療研究	鶴澤正仁	小児科	4,275,000	補委 がんの子供を守る会
難治性疾患克服研究事業 難治性血管炎に関する調査研究	太田 敬	血管外科	300,000	補委 厚生労働省
肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)予防ガイドライン改定作業	太田 敬	血管外科	受領なし	補委 厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	高安 正和	脳神経外科	1,000,000	補委 厚生労働省
心血管疾患の発症予防を目的とした新しいホルモン補充療法の開発	若槻明彦	産科婦人科	2,210,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
妊娠中の酸化ストレスおよび子宮内感染に対するメラトニンの脳機能保護作用機序の解明-子宮内感染に対し、炎症性サイトカインに着目して-	若槻明彦	産科婦人科	2,000,000	補委 (財)おぎや一献金基金
周術期肺炎の分子標的治療;新規炎症抑制性蛋白の単離同定	朝倉 雄介	麻酔科	1,690,000	補委 日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ1による生体保護作用:ハイオマーカ-としての呼気一酸化炭素	野口 宏	救命救急科	780,000	補委 日本学術振興会
熱傷ストレス下における免疫異常と樹状細胞機能:CpGモチーフによる免疫調整	武山直志	救命救急科	780,000	補委 日本学術振興会
アンギオテンシンIIと急性肺障害:AT1受容体阻害による肺保護作用	野口裕記	救命救急科	1,040,000	補委 日本学術振興会
熱傷と免疫異常:焼痂由来物質alarminの関与	青木瑠里	救命救急科	1,950,000	補委 日本学術振興会
救急医療体制の推進に関する研究	野口 宏	救命救急科	900,000	補委 厚生労働省
輸血副作用把握体制の確立-特に免疫学的副作用の実態把握とその対応-	高本滋	輸血部	6,500,000	補委 厚生労働省
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	高本滋	輸血部	500,000	補委 厚生労働省
日本における血液製剤の副作用サーベイランス体制の確立に関する研究	高本滋	輸血部	受領なし	補委 厚生労働省
日本における血液製剤の副作用サーベイランス体制の確立に関する研究	加藤栄史	輸血部	受領なし	補委 厚生労働省
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究	塩見利明	睡眠科	600,000	補委 厚生労働省
環状オリゴ糖包接型局所麻酔薬の創製とそのNaチャンネル遮断効果の電気生理学的検証	新井健一	学際的痛みセンター	800,000	補委 日本学術振興会
関節不動化による患肢廃用モデル動物における神経系の機能変化に関する研究	牛田 享宏	学際的痛みセンター	1,300,000	補委 日本学術振興会
外科系真菌症に関する研究 臨床分離 <i>Candida tropicalis</i> にみられた micafungin の paradoxical effect	三嶋 廣繁	感染制御部	2,400,000	補委 厚生労働省

注意

計

32

1 国,地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け,当該医療機関に所属する

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dig Liver Dis 2008 May;40(5):371-378	Noninvasive Assessment of Liver Fibrosis by Measurement of Stiffness in Patients with Nonalcoholic Fatty liver Disease (NAFLD).	米田政志	消化器内科
Hepato-Gastroenterology 2008 Jan-Feb;55(81):197-201	Des- γ -carboxy prothrombin (DCP) ratio is a useful prognostic tumor marker for single nodule hepatocellular carcinoma (HCC).	米田政志	消化器内科
J Med Ultrasonics 2008 Sep; 35:129-132	Left-sided hepatic hydrothorax diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography with intraperitoneal injection of Levovist.	米田政志	消化器内科
Biol Psychol 2009 Sep;82(1):25-32	Transient responses of inflammatory cytokines in acute stress.	米田政志	消化器内科
現代医学 2008,56(1):51-58	大腸腫瘍内視鏡摘除後のサーベイランス	春日井邦夫	消化器内科
Ther Clin Pract. 2008,14(3):195-203	Autonomic, neuro-immunological and psychological responses to wrapped warm footbaths—a pilot study.	Kunio Kasugai	消化器内科
消化器科 2008,47(1):42-48	プロトンポンプ阻害剤不応性NERDの対する食道内pH-インピーダンス検査の有用性	舟木康	消化器内科
ULCER RESEARCH 2008,35(1):1-3	食道機能検査に基づいたプロトンポンプ阻害薬不応性NERDの病態分類の可能性	舟木康	消化器内科
Therapeutic Research 2008,29(4):533-535	消化管運動賦活薬、酸分泌抑制剤の胃生理機能に与える影響	飯田章人	消化器内科
Hepatol Res. 2009 Jan;39(1):21-30. Epub 2008 Aug 19	Effect of ursodeoxycholic acid on serum liver enzymes and bile acid metabolism in chronic active hepatitis C virus infection.	Nakao H	消化器内科
現代医学(0433-3047)56巻2号 Page281-287(2008.11)	【肝臓疾患の最近の話題】薬物性肝障害(解説/特集)	中出幸臣	消化器内科
World J Gastroenterol. 2009 Mar 21;15(11):1367-72.	Investigation and prediction of enteral nutrition problems after percutaneous endoscopic gastrostomy.	Nakade Y	消化器内科
Clin Exp Pharmacol Physiol. 2008 Aug;35(8):934-7. Epub 2008 May 25.	Peripheral plasma corticotropin-releasing factor concentration does not correlate with augmented colonic motility in response to restraint stress in rats.	Nakade Y	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dig Dis Sci. 2008 May;53(5):1271-7. Epub 2008 Mar 12.	Daily intake of high dietary fiber slows accelerated colonic transit induced by restrain stress in rats.	Nakade Y	消化器内科
消化器科 2009, 48(4):423-429	消化管運動改善薬、酸分泌抑制薬がFD症状を改善させるメカニズム	飯田 章人	消化器内科
消化器心身医学 2009, 16(1):108-111	不快、胃生理機能、ディスペプシアの関係: ストレス負荷実験からの示唆	飯田 章人	消化器内科
J Asthma	The efficacy of montelukast and airway mast cell profiles in patients with cough variant asthma.	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科
Am J Respir Crit Care Med	Japanese Center of the Rare Lung Diseases Consortium. Characteristics of a large cohort of patients with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis in Japan.	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科
Pediatr Pulmonol	A combination therapy of whole lung lavage and GM-CSF inhalation in pulmonary alveolar proteinosis.	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科
日本臨床	新時代の糖尿病学(2)―病因・診断・治療研究の進歩― C.糖尿病の疫学・病態・診断学の進歩 V.糖尿病検査学の進歩 インスリン感受性の評価インスリン負荷試験	加藤宏一	内分泌・代謝・糖尿病内科
Pharma Media	視床下部下垂体疾患におけるGHRP-2負荷試験の検討	稲垣智里	内分泌・代謝・糖尿病内科
JNET 2008;2(2)154-158	バスケット型マイクロスネアを用いた内頸動脈塞栓症に対する血栓破砕術	中野智伸	神経内科
Brain Nerve 2008;60(2)181-185	非階段状緩徐進行性対麻痺を示した脊髄血管内悪性リンパ腫症	中尾直樹	神経内科
Clin Neurosci 2008;26(9):1007-1009	重症筋無力症-病態解明と診療の進歩 診断 重症筋無力症の鑑別診断	佐橋 功	神経内科
Neuropathology 2008;28:326-332	MM1-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease with unusually prolonged disease duration presenting with panencephalopathic type pathology.	Hoshino A	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 2008;79(10):1171-1179	Neuropathic pain correlates with myelinated fibre loss and cytokine profile in POEMS syndrome.	Doyu M	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
現代医学 2008;56(2)379-384	この疾患はどう変わってきたか 球脊髄性筋萎縮症	道勇 学	神経内科
臨床神経学 2008;48(11)970-972	ALS研究・治療はどこまで来たか 孤発性ALS病態関連分子の 探索と疾患モデルの開発.	丹羽淳一	神経内科
Ann Neurol 2009;65(2)140-150	Phase 2 trial of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy.	Doyu M	神経内科
日本腎臓学会誌 2008; 50(4): 478-480	扁桃摘出・ステロイドパルス療法	今井裕一	腎臓・リウマチ膠 原病内科
日本内科学会雑誌 2008; 97 (5): 40-46	検査データの見方 補体	西川和裕	腎臓・リウマチ膠 原病内科
日本内科学会雑誌 2008; 97 (5): 108-112	治療法の実例 扁桃摘出+ステロイド パルス療法	三浦直人	腎臓・リウマチ膠 原病内科
日本内科学会雑誌 2008; 97 (5): 136-139	最近の話題 酸塩基平衡の新しいアプ ローチ	今井裕一	腎臓・リウマチ膠 原病内科
Nephrol Dial Transplant 2008; 23:3126-3129	The HLA-DRB1*1501 allele is prevalent among Japanese patients with anti- glomerular basement membrane antibody-mediated disease	北川 渡	腎臓・リウマチ膠 原病内科
Clin Exp Nephrol 2008; 12: 475-478	Membranous nephropathy (bubbling appearance and spike formation) without immunoglobulin deposition in a patient with systemic lupus erythematosus	三浦直人	腎臓・リウマチ膠 原病内科
Free Radical Research 2008; 42: 949-956	Cobalt chloride decreases EC-SOD expression through intracellular ROS generation and p38-MAPK pathways in COS7 cells	山田晴生	腎臓・リウマチ膠 原病内科
Clinical Nephrology 2009; 71:74-79	Proteinase 3-antineutrophil cytoplasmic antibody-(PR3-ANCA) positive necrotizing glomerulonephritis after restarting sulphasalazine treatment	三浦直人	腎臓・リウマチ膠 原病内科
Clin Exp Nephrol 2009; 13:85- 88	Massive proteinuria and acute renal failure after oral bisphosphonate (alendronate) administration in a patient with focal segmental glomerulosclerosis	三浦直人	腎臓・リウマチ膠 原病内科
J Endocrinol. 196(3):601-613, 2008.	Simvastatin antagonizes tumor necrosis factor-alpha inhibition of bone morphogenetic proteins-2-induced osteoblast differentiation by regulating Smad signaling and Ras/Rho-mitogen- activated protein kinase pathway.	山村昌弘	腎臓・リウマチ膠 原病内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Blood Cander. 51:188-92,2008	The role of hematopoietic stem cell transplantation with relapsed or primary refractory childhood B-cell non-Hodgkin lymphoma and mature B-cell leukemia: a retrospective analysis of enrolled cases	鶴澤正仁	小児科
Leuk Lymphoma. 49:734-9,2008	Favourable outcomes in children with diffuse large B-cell lymphoma treated by a short-term ALL-like regimen: a report on the NHL960 study from the Japanese Childhood Cancer and	鶴澤正仁	小児科
日小血会誌 23:20-27,2008	小児再発ALLにおける分子生物学的微小残存病変(MRD)定量の臨床的意義の検討	鶴澤正仁	小児科
日小血会誌 22:286-292,2008	小児急性リンパ性白血病におけるIg/TCR遺伝子再構成を利用したPCRによるMRD定量	鶴澤正仁	小児科
European Journal of Pharmacology	Roles of naofen, novel WD-repeat-2 protein, in the CCl4-treated livers- A possible relationship to cell proliferation	Jun An	消化器外科
Biotherapy	マウスの大腸癌肝転移モデルにおけるイリノテカン(CPT-11)とクレスチン(PSK)の併用効果	安藤景一	消化器外科
Journal of Microwave surgery	マイクロ波凝固装置を使用した腹腔鏡下肝切除	伊藤暢宏	消化器外科
Experimental Oncology	Anti-tumor activity of murine peritoneal macrophages induced by porcine skin gelatine	Tatsuro Koide	消化器外科
Innate Immunity	Hydrogen peroxide induced the production of tumor necrosis factor- α in RAW 364.7 macrophage cells via activation of p38 and stress-activated protein kinase	Noiku Nakao	消化器外科
Hepatogastroenterology	Hand-assisted laparoscopic hepatectomy for tumors located in posterior segment	Hitoshi Inagaki	消化器外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	Hypogenesis of intramural vascularity and perivascular plexuses of gallbladder in patients with congenital biliary dilatation	Shinsuke Katsuno	消化器外科
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	Results of laparoscopic liver resection: retrospective study of 68 patients.	Hitoshi Inagaki	消化器外科
Angiology Frontier 7:16-21,2008	重症虚血肢の病態と検査	太田 敬	血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脈管学 48:67-73,2008	わが国におけるASOに対する抗血小板療法のエビデンスと現状	太田 敬	血管外科
Circulation Journal 72,SupplIV:1278-1281,2008	日本循環器学会ガイドライン, 血管炎症候群の診療ガイドライン. パージャー病 5 診断法および診断基準	太田 敬	血管外科
Circulation Journal 72,SupplIV:1517-1521,2008	日本循環器学会ガイドライン, 脳血管障害,腎機能障害,末梢血管障害を併せた心疾患の管理に関するガイドライン. 閉塞性動脈硬化症の評価と治療	太田 敬	血管外科
Circulation Journal 72,SupplIV:1522-1523,2008	日本循環器学会ガイドライン, 脳血管障害,腎機能障害,末梢血管障害を併せた心疾患の管理に関するガイドライン. Blue toe syndrome	太田 敬	血管外科
Vascular Lab 5:194-198,2008	血管疾患の診断とモダリティ- 7. 下肢静脈:表在 1, 機能検査	太田 敬	血管外科
日本医師会雑誌 138: 956-57,2009	医療係争事例から学ぶ「腹部大動脈瘤の破裂」	太田 敬	血管外科
Angiology Frontier 8:96-100,2009	医師からみた間歇性跛行の機能評価-トレッドミル検査の重要性-	太田 敬	血管外科
最新医学 suppl: 9-16,2009	新しい診断と治療のABC60 閉塞性動脈硬化症 循環器 10 概念・定義	太田 敬	血管外科
日本医事新報 4422:93-94,2009	Vasc Labの現状と課題	太田 敬	血管外科
Surgery Today 38: 1004-1008,2008	Abdominal Aortic Aneurysm Surgery for Octogenarians	石橋宏之	血管外科
Surgery Today 39: 518-522, 2009	Endovascular Repair for a Descending Thoracic Aortic Aneurysm with a Stent-graft Covering the Celiac Artery: Report of Two Cases	石橋宏之	血管外科
別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズNo.6 循環器症候群(第2版)III-その他の循環器疾患を含めて、415-418、2008日本臨床社	仮性動脈瘤	石橋宏之	血管外科
循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2006-2007年度合同研究班報告) Circulation Journal Vol. 72 Supplement IV, 1465-1579, 2008	脳血管障害、腎機能障害、末梢血管障害を併せた心疾患の管理に関するガイドライン	石橋宏之	血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳血管障害、腎機能障害、末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン	末梢動脈疾患の新しい診断と治療	石橋宏之	血管外科
脈管学49:201-205,2009	静脈疾患の診療	石橋宏之	血管外科
静脈学19:235-39,2008	下肢静脈瘤とQOL	杉本郁夫	血管外科
Surgery Today. 39:9-13,2009	Evaluation of ischemic limbs by transcutaneous carbon dioxide tension.	杉本郁夫	血管外科
日本血管外科学会雑誌 18:43-8,2009	間歇性跛行患者における日常運動状況の検討.	杉本郁夫	血管外科
脈管学 49:9-13,2009	間歇性跛行評価ツールであるWIQの使用法.	杉本郁夫	血管外科
静脈学 19:219-222,2008	結紮併用本幹フォーム硬化療法の検討	岩田博英	血管外科
Surgery Today 39:14-20,2009	Quantitative assessment of the therapeutic effect in the critical ischemic limb using Tc-99m-DTPA-HSA	Kawanisi J	血管外科
日本医師会雑誌137:709	【乳癌診療の現況と今後の展望】家族性乳癌	福富隆志	乳腺内分泌外科
現代医学 56: 29-32	【先進医療の現況】乳腺外科	福富隆志	乳腺内分泌外科
癌と化学療法 36: 453-460	アンケート調査からみた再発・進行がん患者の疼痛管理における主治医の役割の重要性	福富隆志	乳腺内分泌外科
感染防止 18: 6-10	乳腺領域における炎症性疾患 急性乳腺炎、慢性乳腺炎の診断と治療	中野正吾	乳腺内分泌外科
breast cancer 16: 147-150	A case of osteonecrosis of the jaw in a breast cancer patient with bone metastases receiving long-term treatment with bisphosphonates.	Yukako Mouri	乳腺内分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg: Spine 8:602-603, 2008	Neurosurgical forum. Letters to the editor Cervical high-intensity intramedullary lesions.	Takayasu M	脳神経外科
Neuroscience Letter 436:265-268, 2008	Activation of endothelial nitric oxide synthase following spinal cord injury in mice	Osuka K	脳神経外科
J Neurosurg: Spine 9:382-386, 2008	Disseminated neurenteric cyst, case report	Yasuda M	脳神経外科
脳外誌 17:311-316, 2008	上位頸椎外傷の診断と治療	高安 正和	脳神経外科
Brain (No.90):4-5, 2008	首の痛み	高安 正和	脳神経外科
神経内科 69:109-113, 2008	上位頸椎の解剖(頸椎骨、筋、靭帯)	上甲 眞宏	脳神経外科
医学のあゆみ 226(13):1115-1118, 2008	経椎体キーホール手術	上甲 眞宏	脳神経外科
BRAIN NURSING10月号 Vol.24 No.10 (971) 59-63, 2008	脊椎・脊髄手術	安田宗義	脳神経外科
Osteoporosis Japan 2008.4. 16:276-81	骨梁構造と骨力学特性の解析による骨質の評価	佐藤崇	整形外科
肩関節 2008.6. 32:457-60	野球選手の投球側肩関節後方タイトネスにおける筋肉要素の把握	岩堀裕介	整形外科
Hip Joint 2008.11. 34:546-50	関節温存手術症例における対側股関節の長期自然経過	森島達観	整形外科
Hip Joint 2008.11. 34:377-81	Impaction bone grafting法併用の股臼側人工股関節再置換術のX線学的成績	大塚博巳	整形外科
日本関節病学会誌 2008.12. 27:403-7	チャンレー型人工股関節置換術の長期成績 第1世代から第3世代手技	廣瀬士朗	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
愛知医科大学医学会雑誌 2008.12. 36:15-22	ヒト骨肉腫細胞に対する低出力超音波刺激の効果	澤田重之	整形外科
Arch Dermatol. 2008 Jan ; 144(1) : 19-21.	Successful treatment of toenail onychomycosis with photodynamic therapy.	Watanabe D	皮膚科
J Dermatol Sci. 2008 Jun;50(3):185-96.	Oncolytic virotherapy for malignant melanoma with herpes simplex virus type 1 mutant HF10.	Watanabe D	皮膚科
Eur J Dermatol. 2008 Mar- Apr;18(2):200-2.	Progressive nodular histiocytosis - A five-year follow up.	Watanabe D	皮膚科
Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2008 Jun;24(3):142- 6.	Thioredoxin upregulation by 5-aminolaevulinic acid-based photodynamic therapy in human skin squamous cell carcinoma cell line.	Kuhara T	皮膚科
J Dermatol. 2008 Jun;35(6):325-9.	Local injection of botulinum toxin A for palmar hyperhidrosis: usefulness and efficacy in relation to severity.	Yamashita N	皮膚科
Arch Dermatol Res. 2008 Nov;300(10):595-600.	Changes in Na ⁺ , K ⁺ concentrations in perspiration and perspiration volume with alternating current iontophoresis in palmoplantar hyperhidrosis patients.	Ohshima Y	皮膚科
皮膚科の臨床	Photodynamic Therapy(光線力学的療法)で軽快した掌蹠膿疱症の1例	中野章希	皮膚科
J Cutan Pathol. 2009 May;36(5):517-21. Epub 2009 Mar 30.	Reduction in QSART and vasoactive intestinal polypeptide expression in the skin of Parkinson's disease patients and its relation to dyshidrosis.	Kawada M	皮膚科
Acta Derm Venereol. 2009;89(2):150-4.	Photodynamic therapy following carbon dioxide laser enhances efficacy in the treatment of extramammary Paget's disease.	Fukui T	皮膚科
Eur J Dermatol. 2009 May- Jun;19(3):283-5. Epub 2009 Mar 3. No abstract available.	Herpes zoster occurring as a solitary vesicular in malignant lymphoma.	Ishida N	皮膚科
Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2009 Feb;25(1):37- 40.	A pilot study to assess the efficacy of photodynamic therapy for Japanese patients with actinic keratosis in relation to lesion size and histological severity.	Nakano A	皮膚科
Molecular Medicine Reports. 2008;1:791-5	Cyclooxygenase-2 expression in invasive transitional cell carcinoma of the urinary bladder.	Yamada Y	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Health Care Poor Underserved. 2008;19:164-70	The feasibility of expectant management with inner-city men with newly diagnosed localized prostate cancer.	Anai S	泌尿器科
Reprod Med Biol.2008;7:115-8	Retrograde vasalsperm aspiration in anejaculatory patients with spinal cord injury.	Hibi H	泌尿器科
J CancerEduc 2008;23:172-9	Prostate cancer knowledge and screening attitudes of inner-city men.	Pendleton J	泌尿器科
J Natl Med Assoc.2008.666-71	Knowledge and attitudes of primary care physicians regarding prostate cancer screening	Pendleton J	泌尿器科
愛知医科大学医学会雑誌 2008;36:39-42	外傷性持続勃起症の1例	勝田麗美	泌尿器科
Oncol Rep 2009;21:345-9	Long-term results and management of ureteral transitional cell carcinoma using the holmium:YAG laser via rigid-ureteroscopy.	Yamada Y	泌尿器科
Int J Antimicrob Agents 2009;33:276-9	Pharmacokinetic-pharmacodynamic target attainment analysis of doripenem in infected patients.	Ikawa K	泌尿器科
Int J Clin Oncol	Clear-cell adenocarcinoma of the uterine cervix in a 17-year-old adolescent	Yabushita H	産科婦人科
J Pineal Res	Melatonin preserves fetal growth in rats by protecting against ischemia/reperfusion-induced oxidative/nitrosative mitochondrial damage in the	Watanabe K	産科婦人科
糖尿病と妊娠	アディポサイトカインと妊娠 耐糖能異常妊婦の血管内皮障害とアディポサイトカイン	篠原康一	産科婦人科
Oncology Reports	Role of serum-derived hyaluronan-associated protein-hyaluronan complex in ovarian cancer.	Obayashi Y	産科婦人科
東海産科婦人科学会雑誌	卵巣粘液性腺癌におけるヘパラン硫酸6-O-硫酸転移酵素-2の組織内発現の意義	衣笠祥子	産科婦人科
Clin Ophthalmol.	Course of the vertical portion of the lower lacrimal canaliculus.	Kakizaki H	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Plast Reconstr Aesthet Surg.	Re: A transverse ligament located anterosuperiorly in the lower orbital fat space restricts lower eyelid retraction in the Mongoloid eye.	Kakizaki H	眼科
Clin Ophthalmol	Inferior oblique muscle thickness in Asians.	Takahashi Y	眼科
Clin Ophthalmol.	The rate of symptomatic improvement of congenital nasolacrimal duct obstruction in Japanese infants treated with conservative management during the 1st year of age.	Kakizaki H	眼科
J Neurochem	Competitive binding of heparin with hyaluronan to a specific motif in SPACR.	Zhao J	眼科
J Neurochem.	Characterization of a motif for specific binding to hyaluronan in chicken SPACR.	Zhao J	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci.	Versican and fibrillin-1 form a major hyaluronan-binding complex in the ciliary body.	Ohno-Jinno A	眼科
耳鼻咽喉科臨床	睡眠時無呼吸で発見された副咽頭間隙腫瘍例.	小川 徹也	耳鼻咽喉科
Arch Otolaryngol Head Neck Surg.	Limitations of FDG-PET and FDG-PET with computed tomography for detecting synchronous cancer in pharyngeal cancer.	小川 徹也	耳鼻咽喉科
Oral Oncol.	Intraoperative diagnosis of cancer metastasis in sentinel lymph node of oral cancer patients.	小川 徹也	耳鼻咽喉科
Cancer Chemother Pharmacol.	Pretreatment with 5-FU enhances cisplatin cytotoxicity in head and neck squamous cell carcinoma cells.	小川 徹也	耳鼻咽喉科
Clin Cancer Res.	Epigenetic inactivation of galanin receptor 1 in head and neck cancer.	小川 徹也	耳鼻咽喉科
Therapeutic Research	回収可能な下大静脈フィルター留置時の傾きに関する検討	亀井誠二	放射線科
Rad Fan	胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術 TAGの導入を見据えて	亀井誠二	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床生理学会雑誌	マイルド加温により誘導されるHSP70による運動能力の向上	伊藤要子	放射線科
InterventionalRadiology	血管奇形に対するIVRの成績と合併症の検討	北川晃	放射線科
日臨麻会誌 28(1):103-109,2008	超音波ガイド下末梢神経ブロック	藤原祥裕	麻酔科
Acta Anaesthesiol Scand 2008	Respiratory status that facilitates subclavian venous catheterization	Y. Asakura	麻酔科
麻酔科学レビュー2008 —最新主要文献集— 113-118,2008	バランス麻酔	小松徹	麻酔科
Acta Anaesthesiol Scand 2008	Ultra-sound guided sciatic nerve block combined with lumbar plexus block for infra-inguinal artery bypass graft surgery	Y. Asakura	麻酔科
臨床麻酔「臨時増刊号」341-354,2008.3	超音波ガイド下神経ブロック:手技と安全性	小松徹	麻酔科
麻酔 57(5):543-548,2008	特集 麻酔に用いる超音波ガイド下神経ブロック 超音波ガイド下神経ブロック—総論—	藤原祥裕	麻酔科
医学のあゆみ 225(10):1093-1098,2008	超音波ガイド下神経ブロックによる麻酔手技上の進歩とあらたな挑戦	藤原祥裕	麻酔科
Angiology Frontier 7(3):68-73,2008	各診療科における下肢虚血に対する診断・治療への取り組み 第6回麻酔科・ペインクリニックに立場から	伊藤洋	麻酔科
麻酔 57(5):575-579,2008	特集 麻酔に用いる超音波ガイド下神経ブロック 大腿神経ブロック	伊藤洋	麻酔科
ペインクリニック 29(11):1490-1497,2008	特集 超音波を利用する神経ブロック II. 超音波ガイド下神経ブロックの実際 5. 超音波ガイド下胸部傍脊椎神経ブロック	柴田康之	麻酔科
Clin Exp Pharmacol Physiol 35(12):1447-1453,2008	Role of naofen,a novel WD repeat-containing protein,in reducingnitric oxide-induced relaxation.	M.Yamada	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth. 23(2):312-313,2009	Ultrasound-guided neuroaxial anesthesia:accurate diagnosis of spina bifida occulta by ultrasonography	Y.Asakura	麻酔科
J Anesth. 23(2):298-300,2009	Serum concentration of lidocaine after transversus abdominis plane block.	N.Kato	麻酔科
J Anesth. 23(1):158-161,2009	General versus locoregional anesthesia for endovascular aortic aneurysm repair:influences of the type of anesthesia on its outcome.	Y.Asakura	麻酔科
心身医学.	QOLの著しい低下を呈した下痢型IBS患者の寛解例.	山口力	総合診療科
心身医学.	自己愛的な身体症状の取り扱いについての考察 絶食療法での試みにおいて.	山口力	総合診療科
日本皮膚外科学会誌 12(1): 78-79, 2008.	感染創・慢性皮膚潰瘍・熱傷創に対する植皮術(カデックスタイオーバードレッシング)	西堀公治	形成外科
形成外科 51(9):1065-1071, 2008.	熱傷手術におけるtumescant techniqueの有用性	梅本泰孝	形成外科
日本病理組織学会誌 24(1): 18-21, 2008.	Microcystic Adnexal Carcinomaの1例	小田真喜子	形成外科
第14回ケロイド・肥厚性瘢痕研究会記録集 20-24, 2009.	ケロイド由来線維芽細胞におけるheterogeneityについて	小田真喜子	形成外科
熱傷 35(1):49-54, 2009.	遊離植皮における剣山ドレナージの工夫	小田真喜子	形成外科
プレホスピタルMook5 救急現場学へのアプローチ 2008; 52-60	救急現場学とデータ分析の実際	中川 隆	救命救急科
知っておきたい急変のシグナル対応(増補版)新・日本版救急蘇生ガイドライン対応. 2008; 47-51	下壁の心筋梗塞	中川 隆	救命救急科
プレホスピタルMook7新ガイドラインを読み解く 2009;97-103	高度な気道確保.	中川 隆	救命救急科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JSAリフレッシュコース. 2009; 193-202	2007年の心肺蘇生法	中川 隆	救命救急科
プレホスピタルMook9 DMAT 2009; 266-77	愛知DMAT	中川 隆	救命救急科
プレホスピタル・ケア 2008: 21; 18-22	プレホスピタルトリアージによる救急患者の分散と集約で救急医療崩壊をくい止める	野口 宏	救命救急科
救急医学 2008: 32; 877-82	メディカルコントロールにおける胸部外傷	中川 隆	救命救急科
日本外科感染症学会雑誌 2008; 5; 335-40	救急の立場からみたSurviving Sepsis Campaign Guidelines—診療と初期治療—	武山直志	救命救急科
日本臨床救急医学会雑誌 2008; 11; 494-8	重症破傷風の経過中に高熱、筋逸脱酵素上昇の再燃を認めた1例	矢吹 輝	救命救急科
日本救急医学会中部地方会誌 2008; 4; 22-4	特発性脾破裂の1症例	野口裕記	救命救急科
臨床免疫・アレルギー科 2009; 51; 145-53	アナフィラキシーに関する救急医療での現状と対応	中川 隆	救命救急科
救急・集中治療 2009: 21; 413-8	多発外傷患者の鎮静と鎮痛—日本呼吸療法医学会のガイドラインを踏まえて—	中川 隆	救命救急科
クリティカルケアにおける栄養管理 2009; 68-750	必要な投与エネルギー量とエネルギー基質	武山直志	救命救急科
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2008; 12; 44-6	PMX-DHPとleukocytapheresis—炎症担当細胞の選択的吸着に関する基礎的検討—	熊谷常康	救命救急科
Histopathology. 2008 Apr;52(5):585-96.	Nodal T/NK-cell lymphoma of nasal type:a clinicopathological study of six cases.	高橋恵美子	病院病理部
社団法人 日本病院薬剤師会	遺伝子組換え人血清アルブミン製剤	高本滋	輸血部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本サイトメトリー学会	FCMによるDNA Aneuploidy検索のガイドライン	高本滋	輸血部
臨床研修プラクティス	「血液をめぐるノウハウ」血液製剤のお値段 無駄遣い厳禁	加藤栄史	輸血部
麻酔	「麻酔科医のための新しい輸血法」赤血球輸血のモニタリング	加藤栄史	輸血部
新輸血検査の実際	※全体を共同執筆	安藤高宣	輸血部
愛知医科大学医学会誌	ヒト骨肉腫細胞に対する低出力超音波刺激の効果	吉川和宏	輸血部 細胞治療センター
Oncology Reports	Combinations of tumor-specific CD8+ CTLs and anti-CD25 mAb provide improved immunotherapy	吉川和宏	輸血部 細胞治療センター
Mol Cancer Ther.	Potent synergy of dual antitumor peptides for growth suppression of human glioblastoma cell lines. Mol Cancer Ther.	吉川和宏	輸血部 細胞治療センター
Cancer Res	SIL de-represses GLI1 from the negative control of SUFU in pancreatic cancer cell.	吉川和宏	輸血部 細胞治療センター
Oncogene	Decreased expression of CXXC4 promotes a malignant phenotype in renal cell carcinoma by activating Wnt signaling.	吉川和宏	輸血部 細胞治療センター
J Hypertens. 26(6): 1163-8, 2008.	Sustained effect of continuous positive airway pressure on baroreflex sensitivity in congestive heart failure patients with obstructive sleep apnea.	Usui K	睡眠科
循環器科, 63: 98-104, 2008	睡眠時無呼吸症候群と自律神経	篠邊龍二郎	睡眠科
Medical Practice 25. 7: 1130-1136.	睡眠時無呼吸症候群 (SAS)の診断および治療ガイドラインとその活用	篠邊龍二郎	睡眠科
日本医師会雑誌 137(7); 1437-42, 2008.	睡眠時無呼吸症候群の診断と治療	塩見利明	睡眠科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Paediatr Anaesth. 2008 Feb;18(2):167-71	Maternal heart rate variability just before surgery significantly correlated with emergence behavior of children undergoing general anesthesia.	Arai YC	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand. 2008 Feb;52(2):285-8. Epub 2007 Nov 14	Induction and emergence behavior of children undergoing general anesthesia correlates with maternal salivary amylase activity before the anesthesia.	Arai YC	学際的痛みセンター
Br J Anaesth. 2008 Jan;100(1):78-81. Epub 2007 Oct 24	Transcutaneous electrical nerve stimulation at the PC-5 and PC-6 acupoints reduced the severity of hypotension after spinal anaesthesia in patients undergoing Caesarean section.	Arai YC	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand. 2007 Aug;51(7):858-61. Epub 2007 Jun 18	Perental presence during induction enhances the effect oral midazolam on emergence behavior of children undergoing general anesthesia	Arai YC	学際的痛みセンター
Anesth Analg. 2007 Jun;104(6):1352-5, table of contents	The effects of jaw thrust and the lateral position on heart rate variability in anesthetized children with obstructive sleep apnea syndrome.	Arai YC	学際的痛みセンター
日本ペインクリニック学会誌 14(1): 30	痛みと脳を考える 運動器における痛みの中枢メカニズム	牛田享宏	学際的痛みセンター
西日本脊椎研究会誌 33(1)81- 85	頸椎手術症例におけるせん妄の発症要因.	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本脊椎脊髄病学会雑誌 18(2): 443.	人工圧受容器反射システムによる周術期および脊髄損傷患者の血圧コントロール-硬膜外電気刺激法の応用.	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本整形外科学会雑誌 81(8): S846.	前肢廃用モデル動物における頸部脊髄細胞の神経組織学的変化 C-Fosと神経ペプチドについての検討	牛田享宏	学際的痛みセンター
臨床整形外科 42(6): 511-517.	整形外科疾患における痛みの研究 運動器の痛みと脳の反応	牛田享宏	学際的痛みセンター
脳神経外科ジャーナル別冊 vol.17 no.3	痛みの脳神経外科治療 疼痛に関する脳機能画像:最近の知見とその臨床応用	牛田享宏	学際的痛みセンター
理学療法MOOK3 三輪書店	疼痛の理学療法 慢性痛の理解とエビデンス 第2版 学際的痛みセンター	牛田享宏	学際的痛みセンター
Acta Anaesthesiol Scand	Epidural puncture can be confirmed by the Queckenstedt-test procedure in patients with cervical spinal canal stenosis.	牛田享宏	学際的痛みセンター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床脳波 49(7)	【痛みと痒み】仮想(擬似)痛み経験に伴う脳活動部位の検討	牛田享宏	学際的痛みセンター
臨床脳波 49(3)	圧迫性脊髄症における脊髄誘発電位の波形変化のメカニズム(脊髄誘発電位)	牛田享宏	学際的痛みセンター
西日本脊椎研究会誌 33(1): 109.	ムチランズ型RA頸椎病変に対する後頭骨スクリュー・椎弓下テーピングによる後頭頸椎後方固定術	牛田享宏	学際的痛みセンター
中国・四国整形外科学会雑誌 19(2): 342.	難治性膝関節痛に対する高周波熱凝固法の有効性と限界.	牛田享宏	学際的痛みセンター
日本整形外科学会雑誌 81(3)	重度内側型変形性膝関節症に対する局所ラジオ波治療.	牛田享宏	学際的痛みセンター
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 44(Suppl.): S435.	高齢者の慢性膝関節痛に対する高濃度局所麻酔薬での疼痛コントロールの可能性	牛田享宏	学際的痛みセンター
Jpn J Antibiotics 61(2): 73-81	カルバペネム薬の目標T>MIC値に関する臨床的検討	三鴨 廣繁	感染制御部
産婦人科漢方のあゆみ 25:62-65	抗ウイルス薬による性器ヘルペス再発抑制療法の補助療法としての漢方治療に関する検討	三鴨 廣繁	感染制御部
Infection control 17, 555-564	産科・助産院における感染対策	山岸 由佳	感染制御部
産婦人科漢方研究のあゆみ 2009; 26: 116-118	再発性コンジローマに対して漢方治療が有効であった2症例	三鴨 廣繁	感染制御部

計 205

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 伊藤隆之
管理担当者氏名	医事課 羽根田雅巳, 病院管理課 生田芳文, 地域医療連携課 秋田高典, 薬剤部 長谷川高明, 医療安全管理室 野浪敏明, 感染制御部 三嶋廣繁, 臨床工学部 野口宏

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院事務部 各科外来 薬剤部 中央カルテ室	病歴資料については、一患者一番号でカルテと一体になっている。 外来分は各科外来、入院分は中央カルテ室で保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
	高度の医療の研修の実績	病院管理課
	閲覧実績	医事課 病院管理課
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室 病院管理課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 羽根田雅巳
閲覧担当者氏名	医事課長 羽根田雅巳, 病院管理課長 生田芳文
閲覧の求めに応じる場所	会議室又は医療情報管理課中央カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	50.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		16732人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11834人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1053人
	D: 初診の患者の数		46365人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (7) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療の安全を確保するための改善方策に関すること。 2 医療安全管理のための職員の教育・啓発に関すること。 3 医療事故発生時の対応に関すること。 4 医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること。 5 医療安全管理に関する院内の連絡調整 6 その他医療安全管理に関する業務 	有 ・ 無
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 安全管理のための基本的な考え方 2 安全管理の体制確保のための委員会 3 医療安全管理室の設置 4 医療安全管理者の設置 5 リスクマネージャーの設置 6 患者相談窓口の設置 7 医療事故発生時の対応方法等 8 安全管理のための職員研修 9 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 2 医療の安全管理の情報交換に関すること。 3 医療の安全管理のための教育・研修に関すること。 4 その他医療安全管理に関すること。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全講演会「モラル退廃の時代における院内暴力への対応」 2 医療安全講演会「愛知医科大学病院における医療安全」 3 AED を使用した心肺蘇生法 (14 回) 4 人工呼吸に関する医療事故防止対策 (3 回) 5 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の予防と装置の使用法 (1 回) 6 気管切開チューブの概要と安全な使用方法 (1 回) 7 エコーを使用した CV カテーテル挿入法 (1 回) 8 呼吸療法に関する講習会 (3 回) 9 臨床研修医ガイドス「当院の医療安全管理体制」 (1 回) 10 看護職員を対象とした各種医療安全に関わる研修 (3 回) 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 新規採用職員に対する院内ルールの周知と教育方法の徹底 2 ポケットマニュアルの新規作成と職員配布 3 輸血を拒否する患者に対する治療方針の変更とホームページ掲載 4 警察 OB の雇用と医療安全管理室への配置 5 「緊急事態発生時の緊急コール」の変更 6 手術時のタイムアウト開始 7 医療安全行動「いのちを守るパートナーズ」参加登録 (CV カテーテル) 8 麻薬 (内服薬・外用薬) 管理方法の変更 9 アンビュメンテナンスサービスを全部署へ適用 10 採血用穿刺器具の安全配備 <ol style="list-style-type: none"> ① グルテストエースの回収 ② 穿刺具エースレットの回収とジェントレットへの変更配備 ③ ファインタッチからファインタッチプロへの変更 11 形成外科手術患者の血液バンドの装着を徹底 12 眼科外来手術患者の眼洗浄事故から、再発防止策の徹底 13 浴室スロープ (鉄板製) をゴム製に変更配備 14 内視鏡検査における最終飲食確認のルール化 15 インシデント・アクシデントなど AMUSE 報告入力システムの改善 <ol style="list-style-type: none"> ① ログインパスワードの廃止 ② 入力形式一部修正 ③ 室員アクセス方法変更 16 当番医の AMUSE 初画面表示 17 患者さんの呼称について、再周知 18 手術後における遺残確認のためのレントゲン撮影について注意喚起 19 その他、インシデントなど対策各種 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染のための委員会。その他の当該病院などの組織に関する基本方針 3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 感染の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の当該病院等における院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1. 感染予防対策の確立に関すること。 2. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 3. 感染予防の教育に関すること。 4. 感染に関する事故等が発生した場合における原因究明に関すること。 5. その他感染予防に関すること。 以上 1～5 に掲げる事項の審議	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 5 回
・ 研修の主な内容： ・ 感染防止技術の基礎講座 (7回) ・ 院外講師による感染に関する講演会 (2回) ・ 看護部レベル別感染に関する研修会 (2回) ・ 委託業者向け研修会 (2回) ・ ICT勉強会 (6回) ・ 新採用者研修 (看護師1回, 研修医1回) ・ 補助職員研修会 (1回) ・ その他院内講師による講演会 (3回)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ※下図参照 <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD Director[病院長] Deputy[副院長 感染予防対策委員長] InfectionRoom((感染予防対策室 内職:2011 院内感染対策専門員内職:7590 専任員)) PolicyCommittee[感染予防対策委員会 (有事の場合開催)] ICU[ICU] ICT[ICT] InfectiousDisease[診療科部長] Nursing[看護部] CentralSterilization[中央滅菌室] InfectionRoom -- 報告 --> Deputy Deputy -- 報告 --> Director Deputy -- 介入 --> InfectionRoom PolicyCommittee -.-> InfectionRoom InfectionRoom --> ICU InfectionRoom --> ICT InfectiousDisease -- 報告 --> InfectionRoom Nursing -- 報告 --> InfectionRoom CentralSterilization -- 報告 --> InfectionRoom </pre> </div> ・ その他の改善のための方策の主な内容： SSIサーベイランスの実施、ICU全サーベイランスの実施、BSIサーベイランスの実施、全病院サーベイランスの実施、ICTサドの実施、リンクナース活動などのサーベイランスの実施とフィードバック	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療安全のための医薬品適正使用についての講義</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>麻薬、向精神薬保管管理 ハイリスク薬管理 (1回/2ヶ月) 毒薬の管理</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>J I S - D I などの情報システム導入し1回/週データを更新している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年40回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：医療職員に対する人工呼吸器・輸液ポンプ・シリンジポンプ使用に関する安全講習 新規導入機器使用説明会（麻酔器・IABP・人工心肺装置等） 専任技士対象：体外循環技術教育人工臓器セミナー・透析装置メンテナンス講習会 心臓ペースメーカー講習会 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 人工呼吸器定期点検・使用後点検・使用中点検 蘇生バック使用後点検 麻酔器定期点検・マンスリー点検 人工心肺装置使用前点検 PCPS定期点検 IABP使用後点検 除細動装置定期点検・マンスリー点検 AED・マンスリー点検 放射線治療装置定期点検・日常点検 保育器定期点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品医療機器情報配信サービスをうけ、関係部署に通知及び改善を促している。 	